



蔵王の空に夢かける － 自立 創造 友愛 －



第3号

令和7年12月23日発行

2025年も残すところわずかになりました。蔵王連峰もすっかりと雪化粧し、東北らしい本格的な冬が到来しました。10月以降、学校では文化祭や芸術鑑賞会、後期中間考査などが実施されました。現在は1月に実施予定の「学習発表会」に向けて、学習成果の振り返りとまとめ、発表準備に取り組んでいるところです。間もなく2026年を迎えますが、蔵王キャンパス2年生「0学期」という意識を高くもち、「なりたい自分になるために」を常に自問しながら、確かな足取りで駆け抜けることを願っています。
今号では10月後半から取組について紹介します。

収穫の秋を祝う!! － あすなる祭 (文化祭) －

爽やかな秋晴れのもと、10月24日(金)・25日(土)に「あすなる祭」を開催しました。24日(金)の校内発表では、体育館でステージ発表を実施しました。1学年のトーンチャイムから始まり、全クラス(蔵王高校2・3学年含む)による「CLASS C Mコンテスト in ZAO」、有志団体(演芸など)や音楽部によるバンド演奏が行われました。また、体育館には全校制作の「風鈴シャンデリア」が装飾され、会場に彩りを添えました。25日(金)の一般公開では、一般来場者に向けたステージ発表の他、美術部や茶道部、JRC部、総合文化部(自然科学)などの展示発表、蔵王高校3年生やPTAの屋台が出店され、賑わいを見せました。屋台では、焼きそばや焼き鳥などが販売され、文化の秋、恵みの秋を存分に感じられる一時となりました。また、当日は、PTA役員の皆さんによる「朝の一声運動」も行われ、生徒と教員、保護者が一体となって創り上げた素晴らしい文化祭となりました。御来場くださいました保護者・地域の皆様、温かな支援をいただきましたPTA役員の皆様、ありがとうございました。

ステージ発表等には先生方も参加し、文化祭を盛り上げました！

中庭では3年生の模擬店、PTA屋台などが出店され、多くの方に楽しんでいただきました。

文化祭テーマに基づき、会場装飾にも力を入れました！



音楽の授業で練習したトーンチャイムの演奏。緊張しましたが、息を合わせて素晴らしいメロディーを奏でることができました。



本物に触れ、感性を磨こう! － 芸術鑑賞会 －

10月30日(木)に本校体育館を会場に芸術鑑賞会を実施しました。本年度は、古典芸能(津軽三味線)のジャンルで「民謡邦楽Live れんまーRENMAー」を鑑賞しました。演奏者の阿部龍正さんには、迫力ある津軽三味線の演奏の他、三味線の歴史や種類、お囃子や民謡などの豆知識を教えてくださいました。また、「ライラック」や「津軽海峡冬景色」などリクエスト曲の即興演奏では、熟練の技術に感嘆の声があがりました。鑑賞会の最後には、各学年の代表生徒5名による三味線体験も行われ、盛り上がりを見せました。生徒の皆さんにとっては、ふだん日本の伝統芸能に触れる機会が少ないことから、今回の内容は新鮮で日本の良さを知る良い機会となったようです。



三味線の特徴を踏まえて、弾き方を親切に教えていただきました。ギターとの構造や技術面の違いなどを知ることができました。

火災の恐ろしさを体感 - 防災訓練（煙中体験） -

11月7日(金)本年度第4回目の防災避難訓練を実施しました。今回は火災発生想定の実験を行い、白石消防署蔵王出張所の協力のもと「煙中体験」を実施しました。体験では、実際に教室に煙が充満した状況を再現し、その中を通過した後に屋外避難を行いました。これまで大雨・洪水、融雪型火山泥流への対応を想定した屋内避難訓練を実施してきましたが、模擬体験を通して身近な火災の怖さや避難行動について、真剣に考えることができたようです。また、体験後は火災現場における実体験を踏まえて、近年の火災の出火原因(たき火・野焼き)の特徴や煙の特性、災害発生時に高校生にできること(自助+共助)など、具体的な講話をいただきました。

真っ白で何も見えない中を手探りで進むことは、思っていたよりも大変でした。実際の火災では有害な気体や熱の発生もあり、火災の恐ろしさをより強く感じました。



地域とともに生きる - 縁JOYモルック南東北大会 白石市福祉まつり2025 -

11月3日(月)に蔵王町総合運動公園で開催された「縁JOYモルック南東北大会」に1年生の有志3名が参加しました。当日は蔵王高校の2年生も参加し、県内外から参加したモルック愛好家の方々と対戦しました。本校ではモルック愛好会他、校内のレクリエーションとしてモルックに親しむ機会を多く設定していますが、愛好家の皆さんの戦略や技術の高さに触れることで、向上心の高まりが見られました。また、11月8日(土)に白石市のホワイトキューブで開催された「白石市福祉まつり2025」にJRC部(1年生2名)がボランティアとして参加し、来場者の皆さんに車椅子体験やユニバーサルデザイン体験等のサポートに取り組みしました。当日は「BAGGO」というニュースポーツの体験も行い、地域貢献や共生社会の在り方などについて考えることができたようです。

簡単なようで難しい…。仲間と意見を交わして作戦を練り、一投に魂を込める。かなり奥の深い競技です。



多様性を認め合い、心を寄せて助け合えるような社会を目指していきたいですね。

幸福な社会を目指して - 家庭総合（福祉学習）・人権講話「デートDVって何？」

12月11日(木)に「家庭総合」の授業で「認知症サポーター養成講座」を実施しました。当日は蔵王町保健福祉課の皆様にご協力いただき、認知症に関する講話、生活場面を想定した寸劇などを通して理解を深めました。また、12月18日(木)には、柴田町ふれあい手話サークルの末永様を講師にお招きし、聴覚障害に関する学習や手話の実技学習を行いました。これらの講習を通して、少子高齢化社会で求められることや、誰もが生活しやすい共生社会の在り方について考えることができたようです。この他にも、12月17日(水)には蔵王町まちづくり推進課の協力のもと、男女共同参画社会について考える「人権講話」を実施しました。本年度は仙台法務局大河原支局の渡部様を講師に、デートDVの現状やよりよい人間関係の在り方について学びました。今月は、様々な視点から望ましい社会のあり方や個人の生き方について、考える機会が多くありました。間もなく冬季休業を迎えますが、自分の芯をしっかりと固められるよう、学習内容を振り返ってほしいと思います。



認知症の種類、症状の特性など詳しく知ることができました。また、寸劇では様々な場面を取り上げていただき、より身近な問題として考えることができました。

人権講話では、デートDVの実態や影響などについて学び、具体的な事例について問題点を考えました。自分はもちろん、相手のことも大切にして生活することが、よりよい人間関係をつくるために必要であることに改めて気づかされました。

手話の基本や聴覚障害の特徴、相手を思いやるコミュニケーションの在り方などについて教えていただきました。また、実技体験では「翼をください」を手話で歌唱しました。社会の一員としての自覚をもち、共生社会の重要性について考えることができました。

学校ホームページには右のQRコードからアクセスできます。



学校ホームページの内容は随時更新しております。また、週間予定については一斉メールで毎週末に連絡しておりますので御確認ください。



宮城県白石高等学校蔵王キャンパス

〒989-0851 宮城県刈田郡蔵王町大字曲竹字濁川添赤岩1-7

TEL 0224-33-2005 FAX 0224-33-2034

ホームページURL <https://zao-ca.myswan.ed.jp/>

年末年始の緊急連絡先電話番号は、12/19送信の一斉メールの内容を確認してください。